

平成29年度決算

一般会計
特別会計

78億円を検証!!

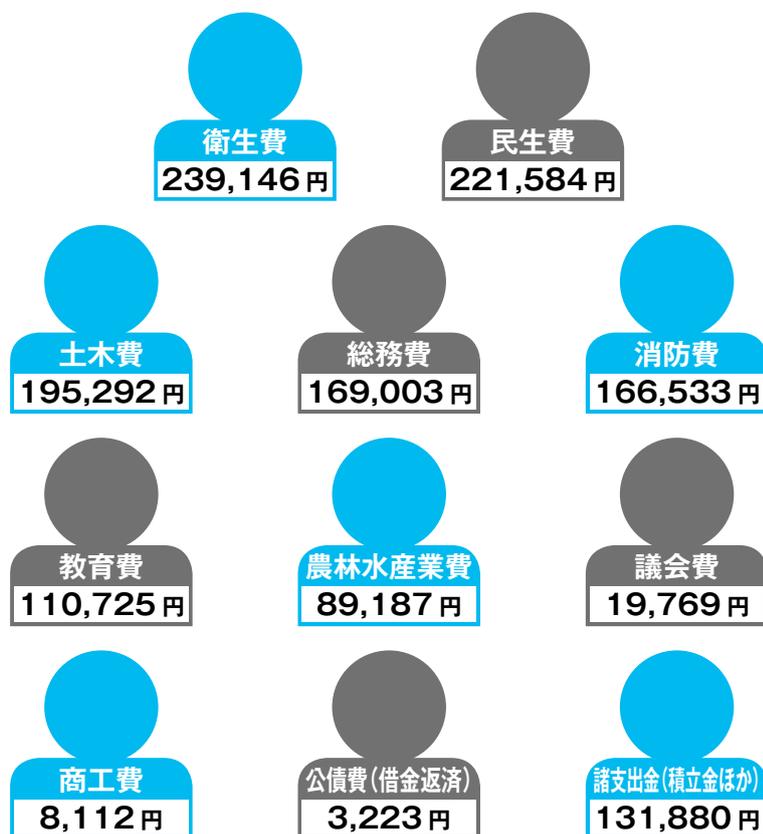


服岡一時避難所

一般会計決算

歳入(財源)	68億4,852万円
歳出(使いみち)	63億4,291万円
差引額	5億 561万円

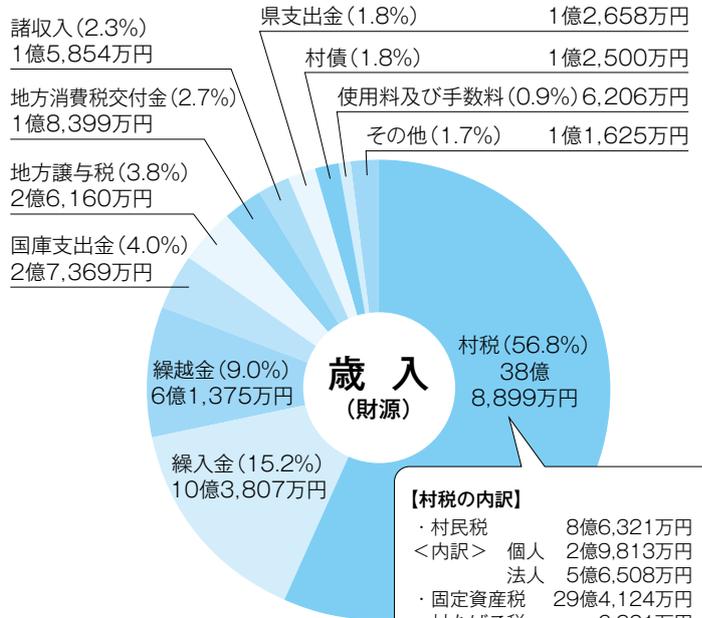
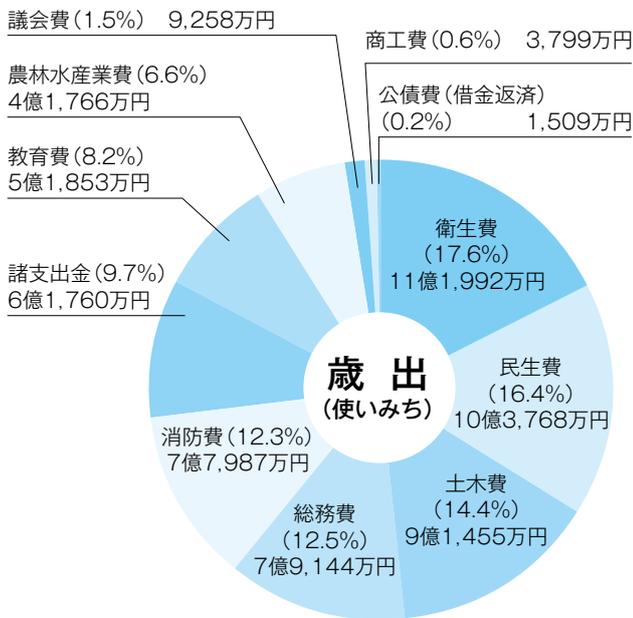
◆歳出総額63億4,291万円を
村民(4,683人)1人あたりにすると… **135万4,454円**



9月定例会のあらまし

9月定例会は、3日に招集され、21日までの19日間の会期で開かれました。工事契約にかかるもの2件、人事案件2件、補正予算7件、平成29年度の会計決算7件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・認定しました。また最終日には、議員提案の意見書4件が追加提出され、いずれも原案のとおり採択しました。

一般質問は、会期17日(9月19日)に6人が当面する村政の問題をただしました。



【村税の内訳】

・村民税	8億6,321万円
<内訳> 個人	2億9,813万円
法人	5億6,508万円
・固定資産税	29億4,124万円
・村たばこ税	6,231万円
・その他税	2,223万円

一般会計

質疑

問 顧問弁護士は必要ないのではないか。年間契約するメリットがあるのか。

答 相談する件数はかなりあり、その後訴訟など正式な手続きに入った場合には、その費用から年間契約を理由とした減額をさせていただけるため、有効だと考える。

問 防災ヘリコプター運営協議会とはどんな組織か。また飛鳥村との関係はどうか。

答 防災ヘリコプターは県が事業を行っており、ヘリコプターを運行するため消防本部が派遣する隊員の人件費を市町村で負担している。

問 ごみ袋の販売については、購入単価が約6・2円で店頭販売が20円ということは、どこが利益を得てどのような流れで販売に至るのか。

答 商工会へ年間65万円でごみ袋の販売を委託し、15円で小売店に販売し、売り上げは村に入金される。小売店は20円で販売するので、5円の利益になる。

討論

反対：橋本 渉 議員

豊かな財政は、給食費の無料化やお年寄りの医療費の無料化を実施するなど、住民負担の軽減をするための施策を進めるべきだと考え反対する。

賛成：伊藤 秀樹 議員

安心・安全・安定の村づくり推進に向け、事業計画に沿って適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算執行の向上に努力することを願う賛成する。

問 消防団員が避難所を把握し、いざと言う時には誘導や配置ができるよう、消防車庫を避難所と同じところへ作っていく考えはないか。

答 現在取り急ぎ更新しなればならない車庫はない。更新時期に分団の車庫が避難所と一致するよう、消防車庫を避難所と同じところへ作っていく考えはない。

問 あいち電子自治体推進協議会へは愛知県の自治体が全部入っているのか。

答 LGWANにかかる費用のため他の自治体も加入していると認識している。

問 公民館の嘱託指導員3名と社会体育の嘱託指導員はどう違うのか。

答 公民館の嘱託指導員は日勤2名と、夜勤が1名で3名。社会体育の嘱託指導員は運動施設の管理をしている。

反対：鈴木 義男 議員

避難所は全てできると総額40億円、村民一人当たり90万円の建設費を使うことになる。また管理費としてのお金もかなり非常に無駄だと思いつつ反対する。

問 障害児通所給付金が1千万円増えているが、どうしているのか。

答 現在取り急ぎ更新しなればならない車庫はない。更新時期に分団の車庫が避難所と一致するよう、消防車庫を避難所と同じところへ作っていく考えはない。

賛成 7 反対 2 で認定

特別会計

(千円以下切り捨て)

決算額

会計名		歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険		6億2,562万円	5億8,638万円	3,924万円
農業集落排水処理施設事業		2億5,775万円	2億5,358万円	417万円
土地取得		55万円	55万円	0円
介護保険	保険事業勘定	4億4,307万円	4億2,602万円	1,705万円
	サービス事業勘定	183万円	173万円	10万円
後期高齢者医療		6,816万円	6,761万円	55万円
宅地造成事業		1億3,279万円	1億3,279万円	0円

国民健康保険

約4千万円となったのは保険税が余ったと理解してよいか。

答 一般会計からの法定外

繰り入れが3900万円

質疑

問 歳入歳出の差引額が

ほどと、県からいただいた財政調整交付金の分だと考える。

問 一般会計から繰り入れれば保険税を多少安くできるので、基金を積む必要はないのではないか。

答 一般会計からの繰り入れは削減していくという方向であり、その場合は基金を崩して充てると考えている。

問 一般会計からの繰り入れがなくなることが本当にあるのか、どう考えているか。

答 なくなるのは遠いことではないと考える。制度に沿ったあり方を作り上げていくしかない。

討論

反対：橋本 渉 議員

住民負担は大変重く、国民健康保険税は高いという声をよく聞く。保険税をもっと安くしてほしいと思いつつ反対する。

賛成：加藤 光彦議員

増加傾向にある医療費と少子高齢化の社会情勢を鑑み財政確保に努めている。保険事業の充実により住民の健康維持・増進に努力を願い、堅実な国保財政を望み賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

農業集落排水処理施設事業

(全員賛成で認定)

土地取得

(全員賛成で認定)

介護保険

質疑

問 介護保険で余った金額は保険料に当たり、本来もつと値下げができたのではないか。3年後見直しはされるが、その辺りはどのように見ているか。

答 第7期の介護保険料にはある程度反映させている。65歳以上の方は増えていくことが当然だと言われており、持続可能な形で進めていくためには介護予防事業を充実させ、必要に応じて十分な給付を形づくりを行っていく。

討論

反対：橋本 渉 議員

介護保険料は県下で一番高い。今の会計から見ればもつと値下げできると思うので反対する。

賛成：上田 光彦議員

高齢化が急速に進展する中、これまで以上に介護予防事業を積極的に展開するとともに、適切な介護保険サービスを受けられる運営を願い賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

後期高齢者医療

討論

反対：橋本 渉 議員

この会計が作られてからサービスの低下や保険料負担が増大し、保険料の支払いが大変だと言われている。サービスの向上と保険料の値下げもしていただきたいので反対する。

賛成：鈴木 康祐議員

この会計は高齢者の保険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けられるようにするための制度である。今後も増え続ける高齢者医療費を国民すべてで支える保険事業のさらなる充実を願う賛成する。

(賛成8 反対1で認定)

宅地造成事業

(全員賛成で認定)

基金名		平成29年度末現在高
財政調整基金	現金等	8億7,784万円
地域整備基金	現金等	66億1,498万円
減債基金	現金等	2,811万円
国民健康保険財政調整基金	現金等	1億1,604万円
人材育成基金	現金等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現金等	1億3,786万円
土地開発基金	不動産(土地 雑種地)	4,514.00㎡
	現金等	1億6,274万円
介護給付費準備基金	現金等	2,892万円
基金合計	現金等	84億7,649万円

監査委員の決算審査意見

平成30年7月17日から7月30日にかけて監査委員伊藤幹男氏、上田光彦氏により、決算審査が行われました。一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月27日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成29年度一般会計、特別会計の歳入歳出に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても特に問題とする事項はありませんでした。

歳入面においては、柱となる村税の徴収については収入確保に十分努力したものと認められますが、今後も引き続き所得の向上が遅々と進まない中で、収入未済額が増加することが懸念されることから、徴収率向上のため不断の努力を期待します。

歳出における不用額は、前年度と比較すると減少しておりますが、執行に当たっては十分な検討を加えられ、予算の節約等考慮されたことと思われませんが、今後とも予算計上・執行ともに十分留意されたい。

また、村の資産及び物品

の管理については、良好の状態において管理するとともに、所要の目的に応じた効率的な運用及び使用に努めてください。

最後になりますが、第4次総合計画の後期基本計画に掲げる「子どもがすこやかに育つむらづくり」「住民が交流を深めるむらづくり」「安心して生活できるむらづくり」を重点として、「私たちが育む村をみんなで育てる」の実現に向け、着実な施策の推進が図られることを要望して審査の結びとします。

審査意見より(要旨)



意見書を村長に手渡しする委員